



一般社団法人
奈良県中小企業診断士会

経営革新支援
企業再生支援
国際化支援
6次産業化支援
ものづくり支援

診断なら

2014 年新年号

— 目次 —

- ◆ 新年ご挨拶 1
- ◆ 平成 25 年度理論更新研修開催報告 2, 3
- ◆ トピックス
 - ベトナム・ミャンマー経済視察報告 4~6
 - 生駒商工会議所主催「経営革新セミナー」報告 7, 8
 - 日本政策金融公庫奈良支店交流会報告 9, 10
 - 奈良県立図書情報館「体験セミナー&無料経営相談会」開催報告 11, 12
 - 奈良県中小企業診断士会 HP リニューアル報告 13, 14
 - 奈良マーケティング研究会設立！ 15, 16
 - 第 22 回診友会開催報告 16
- ◆ 各研究会活動状況 17, 18
- ◆ 新入会員自己紹介コーナー 19, 20
- ◆ 行事開催予定 21
- ◆ 編集後記 21

新年ご挨拶



一般社団法人
奈良県中小企業診断士会
会長 森 昭彦

～ピンチをチャンスに！

力の結集が今年の課題です～

新年、明けましておめでとうございます。

支援先にとっても我々にとっても、今年は本当の意味で良い年にしたいですね。

景気は緩やかに回復していると聞きますが、我々の支援する中堅・中小企業やそこで働く者が豊かさを実感するには及びません。逆に、本年4月の消費税率引き上げを間近に控えて、将来に不安を感じているという声の方をより多く耳にする程です。

我々中小企業診断士にとっても逆風は他人事ではありません。平成24年に施行された中小企業経営力強化支援法に準じて始まった「経営革新等認定支援機関（以下、認定支援機関と表記します）」を認定する制度では、税理士・公認会計士が認定者の大多数を占め、中小企業診断士は極めて少ない人数に止まっています。

中小企業庁は各種の支援施策に「認定支援機関」の活用を図っており、実際に経営改善計画等の作成支援では中小企業診断士の出番が極めて少なくなっています。中小企業診断士の立場がややないがしろにされているようにも感じます。

しかしながら改めて考えてみてください。事業者の問題は資金面には限られません。事業者の状態を俯瞰的に診断して、進むべき方向性や取り組むべき課題を明らかにする役割は、我々中小企業診断士こそが担う使命ではないでしょうか。

「認定支援機関」を利用した事業者からも、中小企業庁のアンケート調査に対して少なからぬ不満の声が上がっているとお聞きしています。その意味で、今は中小企業診断士がチャンスを迎えている状況とも言えます。

今年も我々の力を結集し、事業者に対する実質的な支援を提供していきたいと考えています。当会の事業に対するご支援・ご参画を宜しくお願い申し上げます。

平成 25 年度理論政策更新研修開催報告



副会長 堀越 一郎

一般社団法人奈良県中小企業診断士会主催の理論政策更新研修を、平成 25 年 9 月 7 日(土)に大和信用金庫八木支店ビル 3 階で開催しました。

今回の更新研修の内容は以下の三講義で、いずれも診断士として中小企業の経営改善支援に有用な講義が展開されました。

第一講 奈良県の中小企業施策について

講師 奈良県産業振興総合センター 創業・経営支援部長 榊井 博氏

第二講 中小企業の再生支援

講師 (合)FS リューションパートナーズ 代表

中小企業診断士 (奈良県診断士会会員) 佐伯 眞氏

第三講 クラウド時代における中小企業の IT 化支援

講師 (株)ブルーオーキッドコンサルティング 代表取締役

中小企業診断士 (奈良県診断士会会員) 渡辺 淳氏



第一講では、奈良県産業振興総合センター（県下の中小企業をワンストップで支援する目的で今年度新たに設置された部門）で初代の創業・経営支援部長を務められる榊井博氏により、奈良県の道路整備状況や県内消費の動向などを通じて、奈良県の課題を明らかにし、それを解決するための県の取り組みについて説明がなされました。

第二講では、中小企業診断士の佐伯眞氏が「中小企業診断士しかできない実務型再生支援手法」の副題のもと、自らの体験談を軸に具体的な企業再生支援の手法を熱く語り、聴講生からは感銘を受けた旨の感想が聞かれました。

第三講では、中小企業のIT支援を手がけている中小企業診断士の渡辺淳氏により、クラウド化にフォーカスを当てたIT活用が説明され、診断士としてクラウドについての理解を深めることができました。また、クラウドの活用によりコストやその利便性がいかに中小企業にとって有効であるかが述べられ、出席者からはIT化のサポートを実施する上で非常に役に立ったとの声がありました。

受講者数は93名とこれまで奈良県診断士会が開催した理論政策研修では最多の受講生となり、会場は熱気にあふれていました。



トピックス

ベトナム・ミャンマー経済視察報告

2013年8月26日～9月1日



会員 橋本 篤実

8月26日、まだまだ残暑とは言えない猛暑の中を、飛行機は関西空港を飛び立ちました。

行き先のベトナムへは、奈良県中小企業診断士会メンバー4名が奈良県のベトナム経済視察団に参加し、ミャンマーへはその内の診断士会メンバーだけで行きました。

ベトナムのフート省が奈良県と友好関係にあり、昨年の訪日の答礼を兼ねて奈良県知事を団長とする文化教育視察団と、前田副知事を団長とする経済視察団の2グループ計50名がまずフート省を訪問しました。折から、日越国交樹立40周年でもあり、フート省からは民族舞踊とベトナム料理の熱烈な歓迎を受け、楽しくまた記憶に残る体験となりました。



ベトナムに着いた夜に、日越国交樹立40周年記念と奈良県知事一行を歓迎するフート省主催のパーティが開かれました。

写真は奈良県知事と奈良診断士会メンバー4人(右から大佛健一、西康弘、荒井知事、徳南毅一、筆者)の会場でのショット。

27日は工業団地視察と日系進出企業の庄内スーツカンパニーと現地企業のコスモス工業を訪問。庄内スーツカンパニーは進出12年目で社員1050人、全て日本のアオキ向けスーツを生産。森屋社長からは、貴重な体験談とベトナムでのビジネスの現状を伺いました。

コスモス工業はホンダの現地生産バイクのフレームを生産しており、ホンダの品質賞も受けるなど、管理も行き届いた整然とした生産ラインが見学できました。



(庄内スーツカンパニー)



(コスモス工業)

28日にハノイからホーチミンに移動し、日系の金属部品生産委託工場を見学しました。

29日にミャンマーに移動。ヤンゴン中心に訪問しましたが、JETRO 事務所や日系コンサルティング会社の話は、現地でないとは分からないリアリティのある内容で一杯でした。

特に印象に残るのは、ミャンマー人は仏教への信心が深く、全員が小さい時からお寺で修業するので価値観が人を敬うことであり、またとても親日的であるということです。



ミャンマーの宝とも言うべきシュエダゴンパゴダでは多くの人がお祈り。寝仏も非常に大きくお祈りの人が絶えず、仏教が浸透しています。

30日～31日の訪問企業は、まず日系IT企業のミャンマーDCR、ここは約220人がソフト開発に取り組んでいます。日本よりも優秀な人材が採用でき、日本語の習得も早いそうです。

アースインダストリーは現地資本の電子部品メーカーで、日本企業との取引が大半です。

メイプルトレーディングは現地資本の衣料品メーカーで、社員 900 人、全て日本向けです。

JP テックは自動車の整備会社で、1 年間準備し日本人中心に立ち上げたところでした。



(ミャンマーDCR、日本語朝礼) (アースインダストリー) (メイプルトレーディング)

[まとめ]

数年前からチャイナ+ワンと言われ、行先がタイであり、ベトナムでした。その結果、タイ、ベトナムでは外国投資が進みましたが、近年急速に賃金上昇し、人材の採用も困難になってきています。そして、今はタイ+ワン、ベトナム+ワンと言われています。

このような背景と、仏教への信心が深く幸福の価値観が人を敬うことであるミャンマー人は労働の質も高く、これからのアセアン進出先ではベストだ、というのが現地の見方でした。実際に現地を訪問し、あちこち見聞してそのように感じました。

ミャンマーは人口も多く市場も内外に広がります。日本政府もティラワ工業団地の整備には力を入れており、統一アセアンになる 2015 年には、最新工業団地に日系大手企業の大挙進出が予想されています。中小企業はそれに先駆けて、今ミャンマーに出るのが先行利潤の享受に繋がると考えられます。



生駒商工会議所主催
「経営革新セミナー」報告



会員 本田 秀継

平成 25 年 10 月 2 日から 11 月 27 日までの 2 カ月間（隔週水曜日全 5 回）に亘り、生駒市のエコパーク 21 に於いて生駒市及び生駒商工会議所主催による「ものづくり経営革新セミナー」が開催されました。

当セミナーは、前年度の調査事業で報告された「生駒市の企業立地促進並びに各企業の経営革新に関する調査報告書」の結果において、北田原工業団地に立地するアンケート回答企業の内、「経営革新の必要性を感じている企業」の割合が 68%に及び、さらに「経営革新の必要性を感じているものの未だ取り組めていない企業」がその過半数を占めていることを受けて、生駒市及び生駒商工会議所と奈良県中小企業診断士会とが打合せを行い、森会長による「実践型経営革新セミナー」の提案が採用されたことで開催が決定致しました。

具体的な内容と致しましては、経営革新に未だ取り組めていない企業を想定し、「経営革新とは何か？」という座学から、BSCのスキームを用いた具体的な革新計画策定に向けた実習までを 6 名の診断士がチームを組んで行いました。



カリキュラムは以下の通りです。

①10月2日(水) 16:00~18:30 (座学): 経営革新と支援施策 (実習): 経営革新・改善の第一歩を踏み出そう
②10月16日(水) 16:00~18:30 (座学): 経営革新計画の作り方 (実習): 課題を設定して歩き出す方向を決めよう
③10月30日(水) 16:00~18:30 (座学): 実践的マーケティング (実習): 革新計画と具体的製品イメージ
④11月13日(水) 16:00~18:30 (座学): 経営革新の成功事例と展示会の活用事例/中小企業基盤整備機構 (実習): 売るためのアイデア~展示会でのプレゼン方法~
⑤11月27日(水) 16:00~18:30 (座学): 実践! 展示会を活かした我が社の販路開拓/奈良県地域産業振興センター (実習): 各オペレーションについて考える

生駒商工会議所による募集期間が短かったこともあり、参加企業は10社と想定していたよりも少ないセミナーとなってしまいましたが、参加者の年齢は総じて若く、熱心に講義を聴き、積極的に実習に参加されました。

生駒市担当者からは、地域内企業活性化への取組みはまだまだ試行錯誤の段階にあり、今後とも知恵を拝借したいとお言葉を頂きました。また、今回のセミナーの感触が良かったため、来年度も同様のセミナーを行ってみたいとの報告も受けております。

セミナーをご担当頂きました先生方のお陰で、生駒市及び生駒商工会議所との信頼関係も更に強まった感がありますので、来年度以降も積極的な提案が可能であると実感できた今回のセミナーでした。



日本政策金融公庫奈良支店

交流会報告



理事 佐伯 眞

平成 25 年 10 月 9 日(水)に、日本政策金融公庫奈良支店にて、第 3 回目の情報交換会及び懇親会を開催しました。

情報交換会には、山本支店長を始め、国民生活事業から澄川課長、中小企業事業から近藤課長、農林水産事業から諸富課長が参加され、当士会からは森会長始めとして 10 名が参加しました。懇親会では、中小事業の中村統括、農林水産事業の平田統括、また各事業の営業担当が参加し、盛大に開催しました。



今までの情報交換会は、国民生活事業のみの参加でしたが、今回は初めて中小企業事業、農林水産事業が加わり、日本政策金融公庫全事業での話し合いをしました。情報交換会の内容では、山本支店長の挨拶から始まり、国民生活事業の状況、中小企業事業の状況、農林水産事業の状況等の情報が公開され、参加者全員興味津々で聞き入っていました。

話の中では、最近創業案件が増加傾向にあり、明るい兆しがみえつつあるということです。今後は奈良県中小企業活性化のためには、金融機関だけでなく、行政、商工会議所、中央会、民間等を巻き込んだ形で、サポート体制を作っていく必要があるということでした。そのため、士会には是非お手伝いして欲しいという話でした。

士会からは、森会長が士会の活動内容、各研究会の内容等を説明し、士会には、広く人材が揃っており、さまざまな案件に対して、人材紹介を含む柔軟な対応ができることをアピールしました。その後活発な質疑応答があり、情報交換会は終了しました。

その後の懇親会では、日本政策金融公庫参加者からも士会も全員自己紹介をして、懇親を深めながら、それぞれ楽しそうに1人1人と意見交換をすることができ、とても有意義な時間を過ごしました。



奈良県立図書情報館
「体験セミナー&無料経営相談会」
開催報告



会員 深谷 繁

前回（平成 25 年夏号）の「診断なら」で藤井理事からご紹介がありました通り、当研究会では奈良県立図書情報館様をお願いして、この 12 月、1 月、2 月に毎月一度「中小企業診断士による体験セミナー&無料経営相談会」を開催させていただくことになりました。

当研究会のメンバーのうち、岡本友宏氏、香川登志雄氏、山路浩之氏と深谷の 4 名が担当しており、今年 3 月から月に一度のペースで打ち合わせを行ってまいりました。

この催しは二部構成とし、第一部（約 3 時間）で一般的なビジネススキルに関するセミナーを開催し、その後に第二部（約 2 時間）で経営相談会を行うことにしました。セミナーについては、中小企業を実際に経営している人だけではなく、一般社会人、主婦、学生なども含めてビジネスに関心のある人に広くお越しいただくようにしたいと考えました。

打ち合わせの結果、テーマは「ロジカル・シンキングを学ぼう」とし、対象者は、会社や学校をはじめ日常生活で、自分の考え・意見をより説得力のある形にブラッシュアップしたい方や、聞く人に、理解しやすい話の組み立てをしたい方等とし、体験（グループワーク）を通じて、他人の考え方、自身の考え方の個性、癖に気づき、論理的な思考のまとめ方を身につけるきっかけをつかんでいただくことにしました。

先日、12月14日（土）に第一回目のセミナーと相談会を行いました。この日は5名の方が第一部のセミナーにお越しになりました。どの方も、自己啓発を目的とされているようでした。また、奈良県中小企業診断士会の会員の方も数名聴講にお越しくださいました。診断士会の梅屋様も加わって下さり、総勢6名のグループに対して3題の練習問題を出題しましたが、初対面とは思えないほど打ち解けた雰囲気の中で熱心に討議してくださいました。

第二部の経営相談会には、お一人の方がお越しになり、創業に際しての契約や販路開拓について助言をさせていただきました。

1月18日（土）と2月16日（日）にもこの催しを予定しています。セミナーは順次レベルアップし、当方の研修スキルを上げていくことも目的としています。奈良県立図書館様には、当催しに際して多大なご指導、ご支援を頂いています。今後とも知恵を絞り、工夫を凝らして、多くの方に役立つ企画を立案し、診断士が保有するノウハウの地域還元を実践していきたいと考えています。



奈良県中小企業診断士会

ホームページリニューアル報告



理事 渡辺 淳

平成 25 年 7 月 19 日、士会の新しいホームページがオープンしました。
(<http://www.nara-shindanshi.jp/>)

トップページの写真は、会員である森下賢治先生撮影の若草山の山焼き。奈良県診断士会メンバーの燃え上がる想いを表現しています。旧ホームページに膨大にあったコンテンツを整理しなおし、奈良県の中小企業の皆様、および会員の皆様が知りたい情報にアクセスしやすいように再配置しました。新着情報は常にトップページに掲載されております。皆様もぜひ一度、ご訪問下さい。



また、ホームページリニューアルにあたり、旧ホームページでは事業部会の限られたメンバーの情報のみ掲載していた「会員のプロフィール」ページについては、希望者全てを掲載するように変更し、再募集を行いました。掲載希望者は随時募集しております

ので、新規掲載や掲載情報の修正等をご希望の方は渡辺武久事務局長までご連絡ください。

新しいホームページは、「みんなのビジネスオンライン」（以下「みんなびず」、<http://www.minbiz.jp/>）を利用しています。「みんなびず」とは、Google 等が提供する中小企業向けの Web サイト作成サービスで、パートナーとして参加する KDDI グループ（KDDI および KDDI ウェブコミュニケーションズ）の「Jimdo（ジンドウ）」に、業種別のテンプレートや独自ドメインを組み合わせたサービスです。低価格での利用が可能で、初年度は無料で利用できます。

今回採用した「Jimdo（ジンドウ）」（<http://jp.jimdo.com/>）は、専用のホームページ作成ソフトや、ホスティング用のサーバー、FTP といった難しいことは一切必要としない、ブラウザ上で操作できるクラウド型のホームページ作成ツールであり、CMS（コンテンツマネジメントシステム）です。

ドラッグ&ドロップ等、直観的な操作でホームページを作成できることが特徴です。企業ホームページは、日々の修正・内容追加により最新の情報を掲載しておくことが重要ですが、操作が煩雑だとホームページが放置され、せっかく作ったホームページの価値が無くなってしまっているケースが多々あります。「Jimdo」をベースとした「みんなびず」サービスを使うことにより、ホームページ管理者の負担を少なく、また費用負担を軽く、中小企業であっても自社資産としてのホームページを最大活用することが可能になります。

ホームページは開設やリニューアルの後の更新、活用が重要です。その作業自体は「Jimdo」で今回とても簡単になりましたので、今後も会員の皆様のお役に立てる情報の充実とタイムリーな発信に努めてまいりたいと思います。



奈良マーケティング研究会設立！



会員 岸 克行

このたび奈良マーケティング研究会を担当理事森会長のもと設立いたしました。奈良には歴史と伝統に培われた日本有数、というより数々の世界遺産を始めとする世界レベルでの地域資源があります。最近の調査データでは、都道府県魅力ランキングで奈良県はベスト5入りするほどのブランド力を保持しているというデータもありました。ちなみにベスト4は、北海道・京都・沖縄・東京です。

東京は別格として、他の3県はそのブランド力を活用して経済的なメリットを引き出すのに成功しています。奈良においても、徐々にその取組を本格化しつつありますが、まだまだギャップが大きいのが現状です。

今後、地域間競争がますます激しくなる中、マーケティング支援を通じて地元奈良の企業収益の向上に貢献することを我々の目的としています。

マーケティングは旧来より喧伝されていた、単なる企業の一部門の戦略の一つでなく、経営の根幹をなすものです。企業経営についてトータルな視点で関わる中小企業診断士が是非、手掛ける分野であると確信しております。

従いまして、特にマーケティングに強みを持つ診断士に限らず、IT、人事労務、組織活性化、などなど幅広く会員募集中です。

まだまだ、スタートしたばかりの研究会で、現在は2か月に一度のペースで研究会を開催しております。出来るだけ早い機会に実践の場としての実際のコンサルティングや奈良県中小企業診断士マーケティング研究会としてのビジネスモデル構築を目指しております。

《次回奈良マーケティング研究会開催予定》

日時：平成25年2月1日（土）15時～

場所：奈良県中小企業診断士会事務所

きらっ都奈良3階

*オブザーバー参加大歓迎です。

ご参加いただける場合は、岸（kishi309@gmail.com）までご一報ください。

第22回診友会開催報告

10月21日に奈良県診断士会のゴルフコンペ『診友会』をとりおこないました。今回の参加者は5名で、皆さんの日ごろの行い良く昨日までの雨がさっと上がって晴天の中、レイクフォレスト・ザ・センチュリーコースで楽しくプレーを致しました。

次回は来年4月26日（土）の開催に決めさせていただきました。3月早々にご案内させていただきますのでよろしくお願ひします。



理事 原田 高峰



【左から 徳南氏 森下氏 筆者 岩崎氏 岸氏】

研究会活動状況

研究会名	会員数	開催頻度	主な活動内容	入会申し込み先
企業内診断士研究会 【代表者：藤井理事】	12名	3か月に1回 原則土曜日 午前中	「きらっ都・奈良」の無料経営相談会への参加や奈良県図書情報館でのワークショップの企画・運営を通して、メンバーのコンサルスキル向上を図っている	藤井 f2141@pastel.ocn.ne.jp
ホームページ活用研究会 【代表者：渡辺武久理事】	8名	イベント開催 時に随時	当会のホームページをモデルに作成セミナーを開催する 講師を務めるためのスキル育成研究会を開催する	渡辺 fwkz5706@nifty.com
企業再生・事業承継研究会 【代表者：須崎会員】	4名	年2回程度の 情報交換会 及び実務	奈良県内再生支援先企業の再生支援 情報交換会の開催	須崎 vasuhiro.susaki@gmail.com



企業内診断士研究会
11月30日 例会風景

企業内診断士研究会
11月30日 懇親会風景



研究会名	会員数	開催頻度	主な活動内容	入会申し込み先
国際化診断研究会 【代表者:山西会員】	5名	適時	中小企業の海外販路開拓、海外進出について可能性診断、調査、助言、業務委託等	山西健市 ymc01@kcn.jp 090-9619-8249
セミナー研修研究会 【代表者:徳南理事】	6名	月1回	相互啓発による研修講師としての資質の向上 オリジナルな研修コンテンツの開発 セミナー・研修の実施	徳南 koro-t@mri.biglobe.ne.jp
奈良活性化研究会 【代表者:北川理事】	約50名	原則として 隔月	例会として、ゲスト講師による講演・セミナーを開催 直近2回の開催日と講演テーマは次のとおり 9月28日 ベトナム・ミャンマー現地視察レポート 11月23日 診断士が知っておくべき最新の税金知識	北川 裕康 mckenzie@kcn.ne.jp



奈良活性化研究会
11月23日 例会風景

奈良活性化研究会
9月28日 例会風景



新入会員自己紹介コーナー

- ◆ 平成 25 年 11 月以降現在まで、2 名の方が入会されまして、平成 25 年 11 月末時点での会員数は 74 名となっています。

【50 音順】

ふりがな		まつかわ あきら
名前		松川 晶
連絡先	Tell	0745-22-9047
	Fax	0745-22-9047
	Mail	akira815776dm@yahoo.co.jp
勤務先		大和信用金庫
登録年度		平成 25 年
転入の場合は前支部名		—
		<p>私は、信用金庫に勤務しており、奈良県経済の発展に寄与したいと思い入会させて頂きました。小粒でもピリリと辛い山椒の実のような存在でありたいと思っています。若輩者ではございますが、よろしくお願ひします。</p>
特技		スキューバダイビング(海中のガイドできます)
趣味		スキューバダイビング・登山・スキー

ふりがな		やまだ あきお
お名前		山田 章生
ご連絡先	Tell	0744-33-3313
	Fax	0744-33-3363
	Mail	kaho0412saho0913@gmail.com
勤務先		奈良中央信用金庫 融資部
登録年度		平成 25 年度
転入の場合は前支部名		—
		<p>私は奈良中央信用金庫で取引先企業に対する経営支援担当の業務に従事しております。県内中小企業の経営環境は厳しい状況にあり、当会先輩諸氏のお力、ネットワークをお借りして、その経営支援に励みたいと考えおりますので宜しくお願い致します。</p>
特技		マラソン(ベスト 2 時間 45 分、奈良マラソン 2013 まで 21 大会連続で 3 時間以内完走記録継続中です)
趣味		陸上関連世話役(勤務先ランニング部主将・県内ランニングクラブ副会長)

奈良士会行事開催予定

- ◆ 活性化研究会 1月25日(土)
- ◆ 奈良マーケティング研究会 2月1日(土)
- ◆ 奈良県立図書情報館
体験セミナー&無料相談会 1月18日(土) 2月16日(日)
- ◆ 平成26年度「新春互礼会」 2月7日(金)
- ◆ 第23回 診友会 4月26日(土)

編集後記

- ▽ 2012年春季号にて電子メディア版として再開して今回で5号目を発刊することが出来ました。会報作成にあたって、原稿をご提供いただいた方々に御礼申し上げます。
- 今号は内容をボリュームアップし、会員の方々の士会活動でのご活躍をトピックスとして多く紹介いたしました。これからも会員の方々のご活躍含め、旬のコンテンツを盛り込みながら良い誌面づくりを心掛けてまいりたいと思っています。今後とも各種情報提供や寄稿など、士会会員の皆さまのご協力、宜しくお願いいたします。 【松山】



あやめ池南より
春日山方面を望む
【2014年 新春】

一般社団法人
奈良県中小企業診断士会
<http://www.nara-shindanshi.jp/>

〒630-8217-
奈良市橋本町3-1
きらっ都・奈良 3階 302号
Tel : 0742-20-6688
Fax : 0742-20-6788
e-mail : jsmeca27@m3.kcn.ne.jp